

新築エリアの 平面計画（案）について

1 階平面計画の作成について①

第4回検討会（R8.4.28実施）
資料1 再掲

■モデルプランを踏まえた整備の方向性

- ・各機能の目的を尊重しつつ、時代のニーズに合った空間
- ・子ども・若者と地域の人々が交流し、緩やかにつながることができる共有の空間
- ・乳幼児から高齢者までが気軽に立ち寄り、交流しやすい空間
- ・隣接する保育園・療育センター利用者との連携しやすい空間

【参考とした主な意見】 ※詳細は資料1（別紙1）参照

回次	議題	番号
2	(2)	6 など
	(3)	1～6、18、25、37、38、41、42、44～47、102、105～107、121、122 など
3	(1)	3、4 など

■考え方 ※具体的な整備の考え方（案）に基づくレイアウトイメージは資料1（別紙2）参照

モデルプランにおける配置の考え方			平面計画作成に係る具体的な整備の考え方	
児童館	児童館事務室	①児童館事務室は、児童館入館者を管理しやすく、遊戯室も見渡せる中心部に配置	児童館	・児童館及び公民館事務室を建物中心付近に配置し、共用部等との間にカウンターを設置することにより、開放感を創出し、安全性を確保する。
	遊戯室（乳幼児）	②遊戯室（乳幼児）は、幼児用の遊戯室として配置（遊戯室との間は可動間仕切りを設置し、児童館開館中の専用利用にも配慮）		（左記のとおり）
	フリースペース（児童館）	③フリースペースは遊戯室と空間を分離し、学習や読書活動などの利用に配慮	共用部	・フリースペースを共用部とし、ロビーと一体的に整備することにより、開放感を創出する。 ・ロビー・フリースペースの一部を靴を脱いで利用するエリアとし、子どもが静かに安心して利用できる空間とする（学習、読書、おもちゃ遊び、ゲーム等）。 ・公民館保育等での利用も考慮し、可動式間仕切り等で仕切れる構造とする。
公民館	出入口	④メインの出入口は、北側（駐車場側）に配置		（左記のとおり）
	エレベーター	⑤EVは11人乗り（車椅子が2台入れるスペース）を確保する。		（継続検討）

1 階平面計画の作成について②

第4回検討会（R8.4.28実施）
資料1 再掲

モデルプランにおける配置の考え方			平面計画作成に係る具体的な整備の考え方	
公民館	出入口（駐輪場側）	⑥自転車利用者の利便性も考慮し、自転車置場側に出入口を設置	共用部	自転車置場を<u>建物北側（駐車場側）に整備</u>することとし、出入口を集約する。
	ロビー	⑦両施設の中心にロビーを配置し、交流と賑わいのスペースとする。また、フリースペースと一体的な利用にも配慮する。		- 施設に一体感を持たせ、賑わい溢れるオープンな空間として整備する。 - 開放感を創出するため、<u>フロア全体を見通せる設え</u>とする。 - 長時間の滞在利用を想定して<u>誰でも利用可能なミニキッチンを整備</u>し、給湯や電子レンジ等を配置する。
	滞在型図書室	⑧滞在型図書室を東側に配置し、動と静の空間に距離をとる。	公民館	（左記のとおり）
	保育室	⑨保育室は、読み聞かせコーナーと一体的な利用を可能とする。保育が必要な際は、独立できるなど、柔軟な対応に配慮する。	共用部	<u>ロビー・フリースペース（靴を脱いで利用するエリア）等で保育室機能を代替</u>し、<u>可動式間仕切り等で仕切れる構造</u>とする。
	フリースペース	⑩フリースペースは、イベント前の準備スペースとしての利用を想定し、横引きシャッターを設置		（左記及び「ロビー」記載のとおり）
	給湯室／授乳室	⑪給湯・授乳室は、保育室に近接した位置に設置		- 授乳室は<u>ロビー・フリースペース（靴を脱いで利用するエリア）に隣接した位置に設置</u>する。 - 給湯はロビー内のミニキッチンを使用する。
	倉庫	⑫倉庫は、物品の出し入れがしやすいように、ロビー等から直接アクセス可能な位置に配置		事務室に隣接し、物品を出しやすいようにする。

2階平面計画の作成について①

第4回検討会（R8.4.28実施）
資料1 再掲

■モデルプランを踏まえた整備の方向性

- 各機能の目的を尊重しつつ、時代のニーズに合った空間

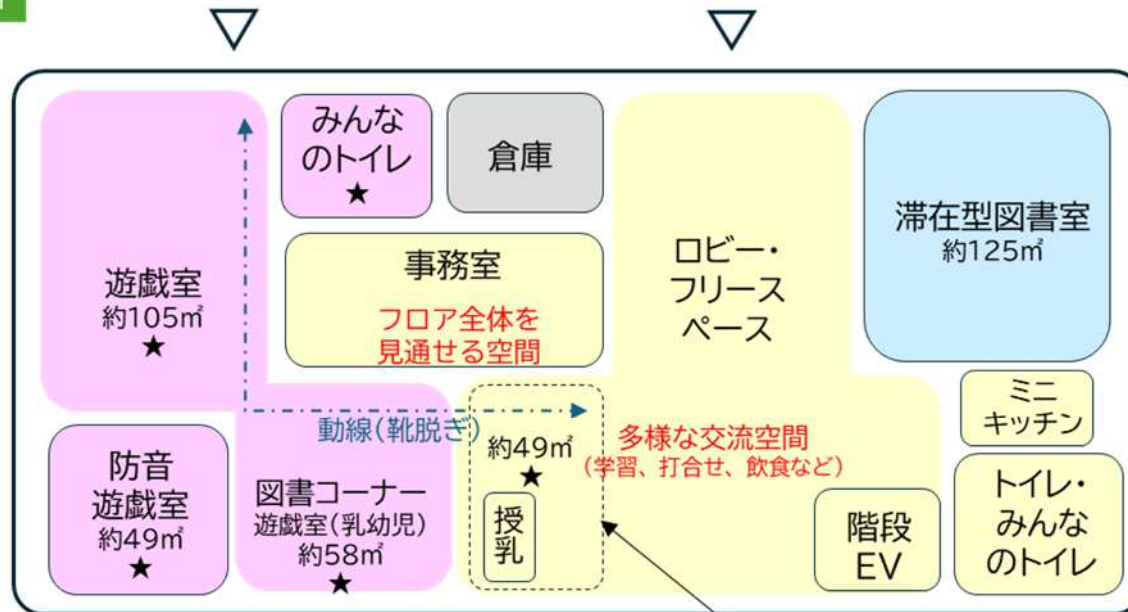
【参考とした主な意見】 ※詳細は資料1（別紙1）参照

回次	議題	番号
2	(2)	4～6 など
	(3)	7～9、11～13、37、38、102、121、122 など
3	(1)	3 など

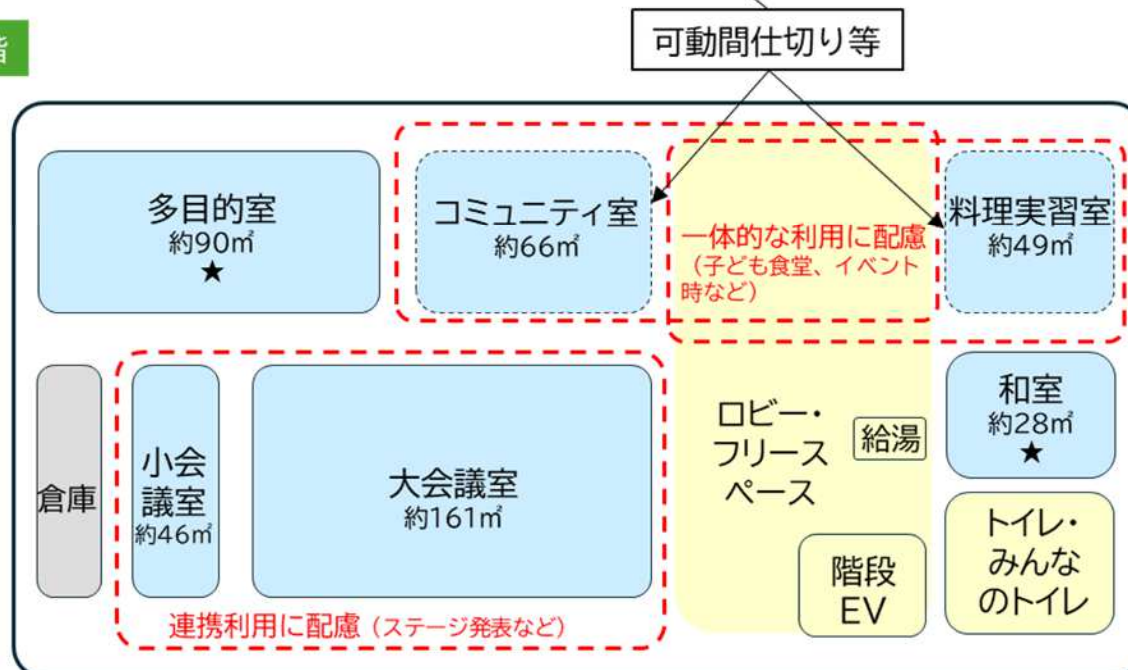
■考え方 ※具体的な整備の考え方（案）に基づくレイアウトイメージは資料1（別紙2）参照

モデルプランにおける配置の考え方			平面計画作成に係る具体的な整備の考え方	
公民館	コミュニティ室	①音を出す活動での利用が多いと想定されるコミュニティ室及び多目的室は、南側に立地する住宅への影響を考慮してを北側（駐車場側）に配置	公民館	<u>ロビー・フリースペースとの一体的な利用を考慮して配置し、可動式間仕切りで仕切る構造</u>として整備する。 - 会議等での利用を想定して整備を行う。
	多目的室			（左記のとおり）
	ロビー	②大会議室前のスペースは、イベント時の受付設置場所等を確保	共用部	<u>フリースペースと一体で整備</u>するとともに、イベント時等における<u>コミュニティ室や料理実習室との一体的な利用</u>も可能な空間として整備する。
	収納／倉庫	③倉庫の動線は、給湯室を通り抜ける。	公民館	（左記のとおり）
	料理実習室	④料理実習室とフリースペースは、子ども食堂などでの連携した利用を考慮し、隣接して配置（フリースペースとの間は可動式間仕切り）		（左記のとおり）
	大会議室	⑤大会議室はフリースペースと隣接させることで、展示等イベントの際に連携を図る。		（左記のとおり）
	小会議室	⑥使いやすさや災害時の避難経路を考慮して配置。イベント時に多様な使い方を対応できるよう、大会議室との間に扉を設置		（左記のとおり）

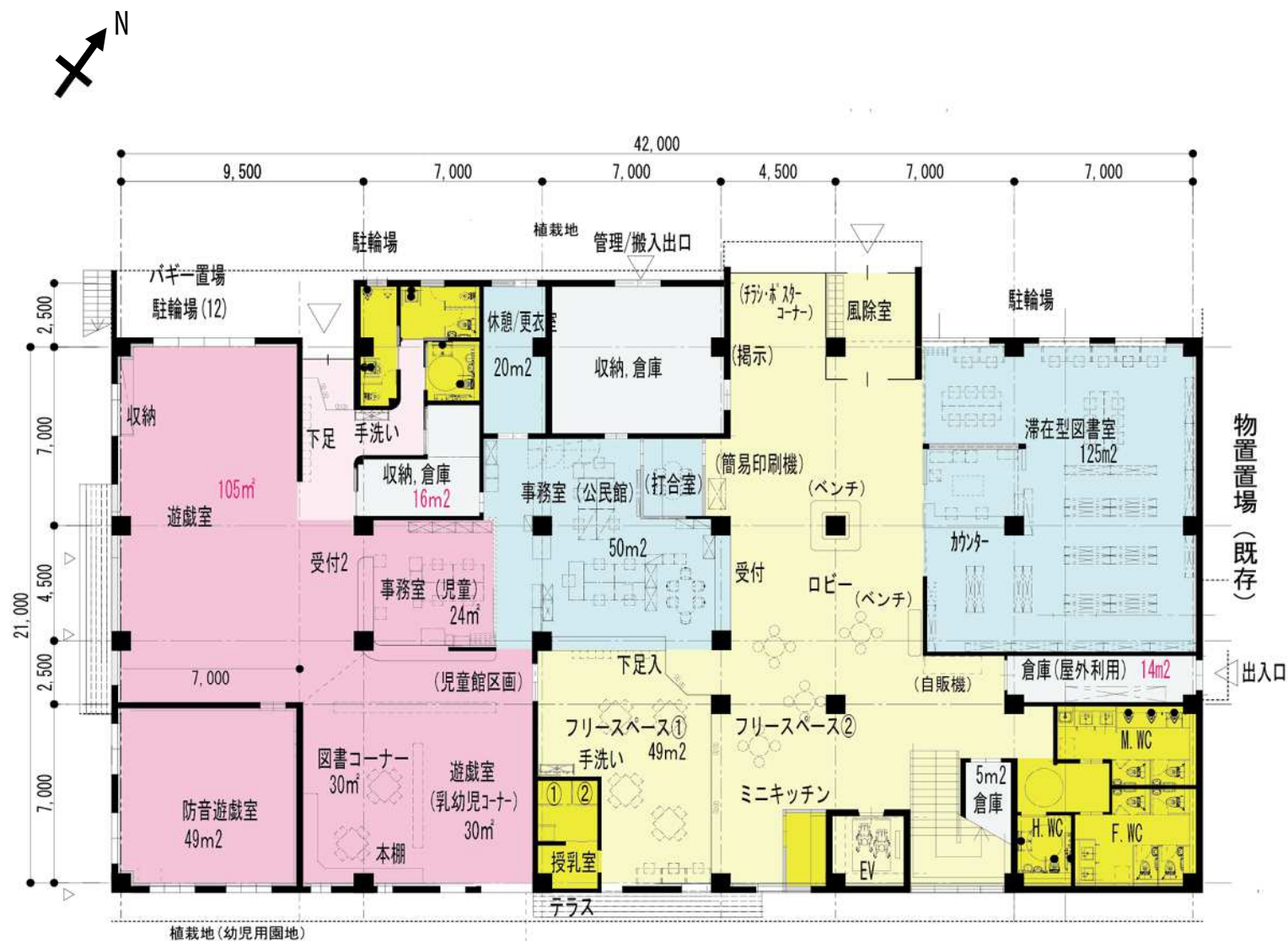
1階



2階



1 階平面計画（案）について



■主な諸室の面積

諸室名	面積
事務室	74 m ²
滞在型図書室	125 m ²
フリースペース(靴を脱いで利用するエリア)	49 m ²
遊戯室	105 m ²
遊戯室(乳幼児)	30 m ²
図書コーナー	30 m ²
防音遊戯室	49 m ²

※図面はイメージであり、変更する場合があります。

2階平面計画（案）について



■主な諸室の面積

諸室名	面積
大会議室	161 m ²
小会議室	46 m ²
茶室／和室	28 m ²
料理実習室	49 m ²
多目的室	90 m ²
コミュニティ室	66 m ²
フリースペース	73 m ²

※図面はイメージであり、変更する場合があります。

【参考】現施設各諸室面積

光が丘公民館

諸室名	面積	およその定員
大会議室	171.00m ²	160人
小会議室	37.10m ²	24人
料理実習室	55.60m ²	32人
茶室	27.90m ²	12人
和室	90.56m ²	55人
保育室	37.52m ²	18人
図書室	73.98m ²	
コミュニティ室	65.20m ²	34人
事務室	39.99m ²	
休憩室	6.76m ²	
第2事務室	59.53m ²	

青葉児童館

諸室名	面積
遊戯室	67.08m ²
だんらん室	13.25m ²
図書室	7.45m ²
事務室	7.45m ²
会議室	33.12m ²

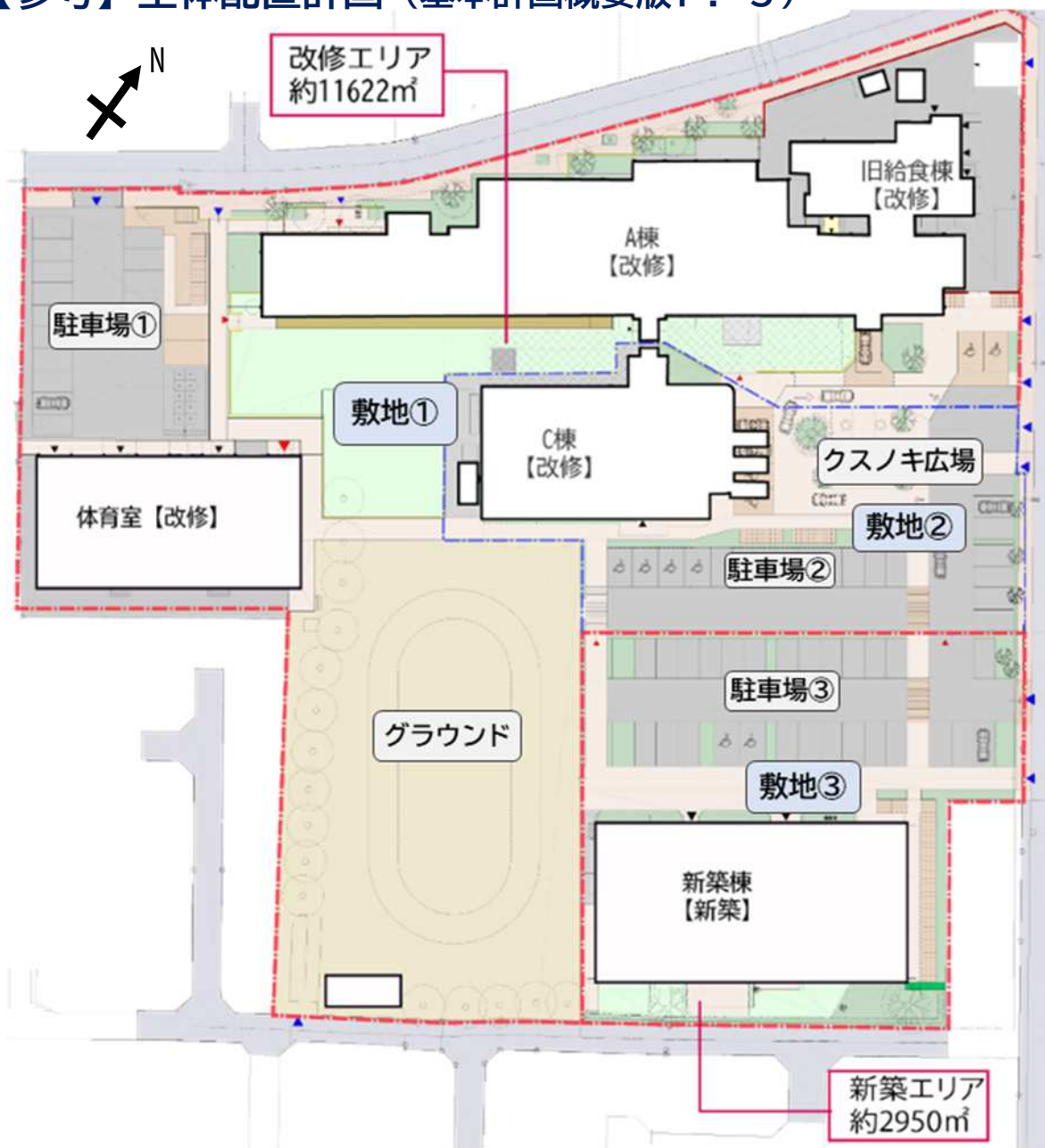
■考え方

- ・ 車両動線と歩行者動線の交錯が最小限となるように留意する。
- ・ 駐車場は新築棟用27台程度整備する（公用車1台を含む）。なお、非常時等は改修エリア駐車場との共用利用も可能な配置とする。
- ・ ベビーカー、バギー等での来館を想定し、滞留空間を整備する。
- ・ 敷地東面接道部はフェンスや門扉を設けないオープンな空間とする。
- ・ 敷地南面接道部のグラウンドに面する部分は防球や防塵対策を講じる。
- ・ 新築エリア前面にイベント時の模擬店等で利用可能な多目的広場を整備（意見を踏まえて追記）

■各ゾーンの主な利用用途等

ゾーン名	主な利用用途等（案）
駐車場③	・ 新築棟利用者用（27台程度）
駐輪場及びベビーカー、バギー置き場	・ 新築棟利用者用
グラウンド	・ 球技、遊具遊び 等 ・ イベント時の模擬店設置場所 等

【参考】全体配置計画（基本計画概要版P. 5）



外構計画（案）について

■基本計画から変更した主な箇所

- ・ 新築エリア敷地入口付近に広場を配置
- ・ 駐車場③の面積縮小に伴う駐車台数減（27台→22台）

